

財政構造改革への取組み

2009年夏

- 1 県財政を取り巻く環境
- 2 「財政構造改革」への取組概要
- 3 財政調整的基金,県債残高等の推移
- 4 今後の取組み等

～ 未来に明るさを見出せる改革へ～

1 県財政を取り巻く環境

財政構造改革策定(H19年10月)以降の地方財政対策

平成20年度

地方税の偏在是正により生じる財源を活用し、地方の自主的・主体的な活性化施策に必要な歳出を計上(4,000億円)

・「地方再生対策費」の創設……本県影響額32億円

平成21年度

生活防衛のための緊急対策に基づき地方交付税を別枠で「1兆円」加算し、雇用創出につながる地域の実情に応じた事業の実施に必要な歳出を計上(1兆円)

・「地域雇用創出推進費(5,000億円)」の創設……本県影響額35億円

・地方財政計画の歳入歳出の見直しを通じた地方財源の充実(5,000億円)
……本県影響額不明

国税の減収に伴う地方交付税の精算

地方交付税は、国税5税の一定割合を原資

普通交付税の決定は、7月から8月

国税5税が当初予算を下回った場合は精算が発生

国税5税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)

平成19年度分精算額: 4,994億円

平成20年度分精算額: 1兆2,400億円(決算額により変動あり)

地方財政に配慮し、H23~H27の5年間で精算

本県への単年度影響額: $1兆7,394億円 \div 5年 \times 1\% = 35億円$

県税収見込みの大幅減

百年に一度の経済危機が本県経済を直撃!!

H20当初予算
865億円

H21当初予算
698億円

前年度比 167億円の減収見込み

2 「財政構造改革」への取組概要

財政構造改革基本方針における収支見直しに対する収支改善目標試算
(単位: 億円)

	19予算	20予算	21予算	22	
改革前の財源不足額 A	228	260	285	291	
改革後の財源不足額 B (A+F)		85	73	66	
財政調整的基金年度末残高 C	現在高	95	62+	36+	
対前年度減少額	年度末見込み	135	40	33	26
年度末積み戻し目標 E	残は実績	(45)	(40)	(40)	
(内訳)					
収支改善目標額 F		175	212	225	
公共事業 G		12	24	24	
政策、その他経費 H		31	41	47	
その他の収支改善工夫 I		92	97	104	
職員給与の臨時的削減 J		40(50)	50	50	

ポイント

21年度基金取崩額は目標の「73億円」に止めた。

「45億円」の20年度中の基金積み戻しを達成

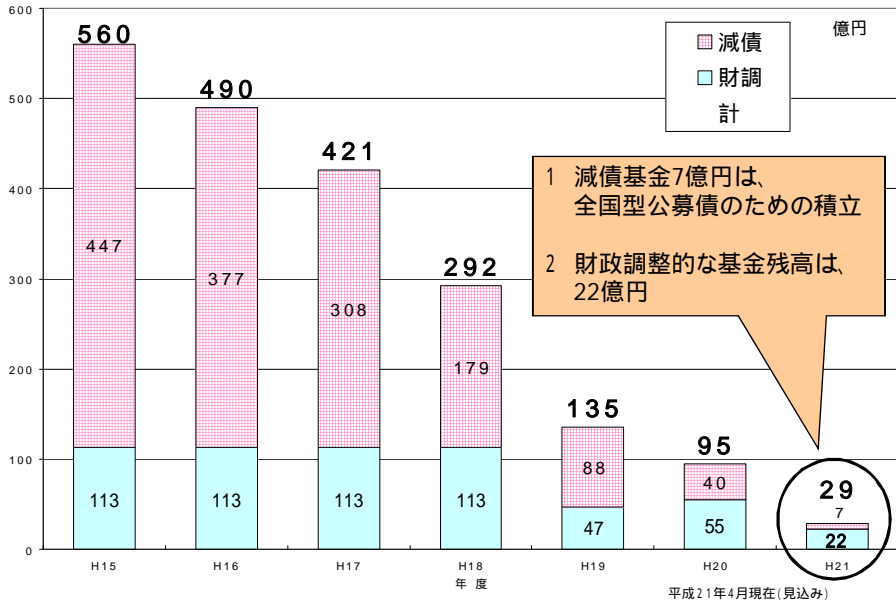
経済・金融危機の渦中「政策その他経費」削減は「41億円」に止めた。

22年度収支改善目標の着実な実施

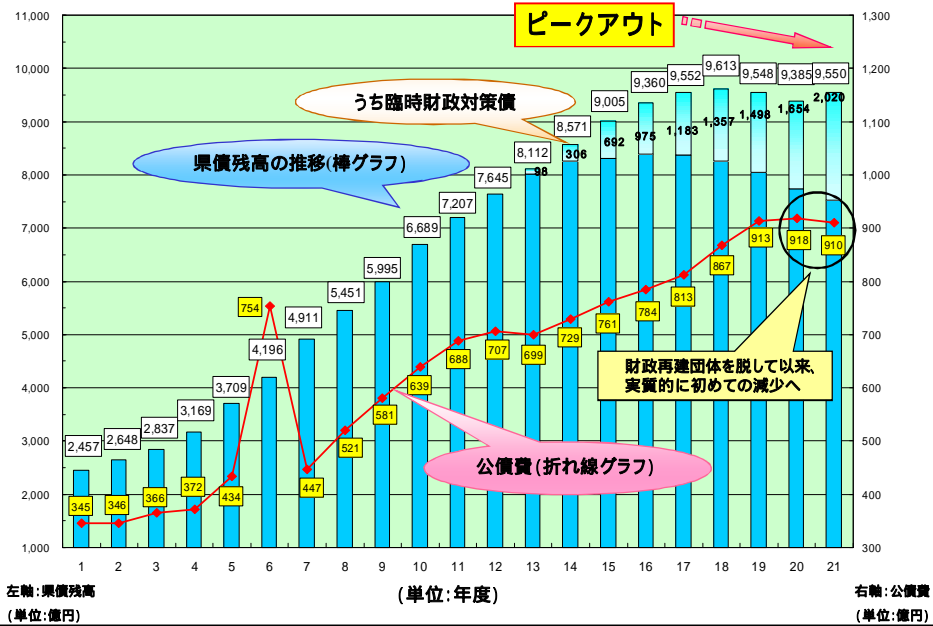
地方一般財源の確保
22年度地方財政対策への期待

は未確定数値、は職員数削減効果を含む

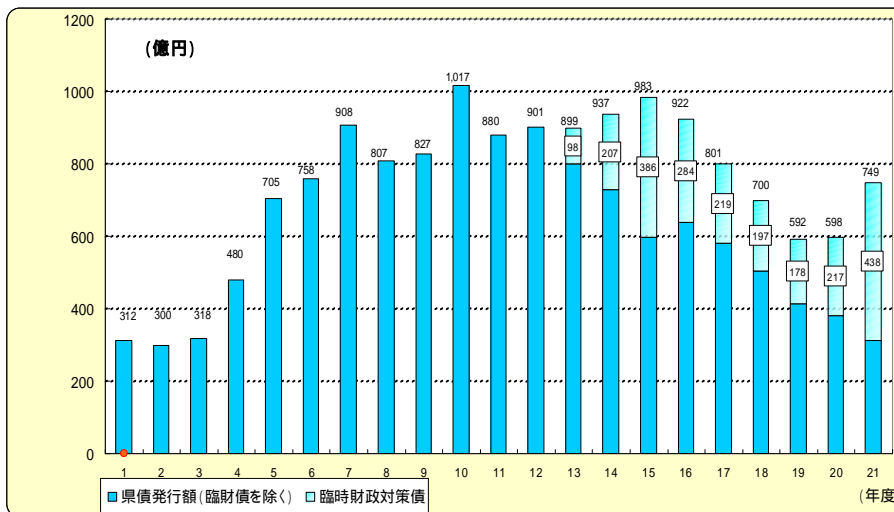
3-(1) 財政調整的基金の推移



3-(2) 県債残高と公債費の推移について



3-(3) 県債の発行状況(年度別)



4 今後の取組み等

地方財政を取り巻く環境の激変
財政構造改革期間(H20～H22)
の折り返し時点

財政構造改革
小委員会の設置

21年度地方交付税の確定
21年度県税収入見込み
社会保障経費(扶助費)の増高傾向等

「収支改善目標試算」のローリング
財政構造改革の進捗状況と検証

「平成22年度当初予算編成方針」の策定

百年に一度の経済危機の中、職員一丸となり、
「知恵と工夫」を活かし、「聖域なき改革」を！

徳島県の未来創造に繋がる財政構造改革へ